

大阪医科薬科大学薬学部 研究業績

2021 年度

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

目 次

医療薬学領域

病態分子薬理学研究室	4
薬品作用解析学研究室	6
薬物治療学研究室	8
薬物治療学Ⅱ研究室	9
循環病態治療学研究室	10
病態生化学研究室	13
生体分析学研究室	15

薬学臨床領域

薬剤学研究室	17
製剤設計学研究室	19
社会薬学・薬局管理学研究室	22
臨床漢方薬学研究室	25
臨床薬学教育研究センター	26

生物・予防薬領域

衛生化学研究室	33
感染制御学研究室	36
生体機能解析学研究室	38
生化学研究室	39
薬品物理化学研究室	40

創薬科学領域

機能分子創製化学研究室	41
医薬分子化学研究室	42
有機薬化学研究室	43

生薬科学研究室	45
分子構造化学研究室	47

薬学教育領域

薬学教育研究センター	50
------------------	----

薬学研究支援センター

中央機器研究施設	51
----------------	----

総合科学領域

自然学グループ	53
言語文化学グループ	54
人間文化学グループ	55
環境医療学グループ	56

病態分子薬理学研究室

学術論文

M. Tawa, R. Nagata, Y. Sumi, K. Nakagawa, T. Sawano, M. Ohkita, Y. Matsumura. 2021. Preventive effects of nitrate-rich beetroot juice supplementation on monocrotaline-induced pulmonary hypertension in rats. *PLoS One* **16(4)**:e0249816

M. Tawa, T. Shimosato, K. Nakagawa, T. Okamura, M. Ohkita. 2022. Soluble Guanylate Cyclase-Mediated Relaxation in Aortas from Rats with Renovascular Hypertension. *Pharmacology* **107(3-4)**:235-240

K. Nakagawa, R. Tanaka, M. Donouchi, M. Kanda, S. Kamada, S. Kobuchi, M. Tawa, Y. Matsumura, M. Ohkita. 2022. Vascular Endothelial Dysfunction in the Thoracic Aorta of Rats with Ischemic Acute Kidney Injury: Contribution of Indoxyl Sulfate. *Oxid Med Cell Longev* **2022**:7547269

学会発表等

田和 正志：動脈硬化血管における可溶性グアニル酸シクラーゼの酸化還元状態. 第 74 回 日本酸化ストレス学会・第 21 回 日本 NO 学会合同学術集会, 5 月 (Live-Web)

中川 恵輔, 糸谷 茉友子, 竹本 奈央, 松浦 由佳, 田和 正志, 松村 靖夫, 大喜多 守：ラット胸部大動脈に対するインドキシル硫酸急性曝露の影響. 第 74 回 日本酸化ストレス学会・第 21 回 日本 NO 学会合同学術集会, 5 月 (Live-Web)

中川 恵輔, 田中 雅美, 中川 愛海, 石川 梨乃, 犬塚 理奈, 松村 靖夫, 大喜多 守：杜仲葉エキスの糖尿病性腎症への影響. 日本杜仲研究会 第 15 回 定期大会, 7 月 (大阪・オンライン)

中川 恵輔：インドキシル硫酸急性曝露が血管機能に及ぼす影響. 第 28 回 市大フォーラム, 8 月 (オンライン)

今本 京大, 河野 早苗, 澤野 達哉, 中川 恵輔, 田和 正志, 大喜多 守：心虚血再灌流障害に対するインドキシル硫酸の影響. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

大迫 宏樹, 田中 杏奈, 福森 陽香, 中川 恵輔, 田和 正志, 大喜多 守 : 虚血性急性腎障害に対する sGC 刺激薬の影響. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

笠井 颯仁, 井手 俊哉, 中川 恵輔, 田和 正志, 大喜多 守 : モノクロタリン誘発肺動脈性肺高血圧症ラットモデルに対するベートルートジュース投与による治療効果. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

中川 恵輔, 堂内 政秀, 神田 将哉, 鎌田 沙彩, 小渕 修平, 田中 亮輔, 田和 正志, 松村 靖夫, 大喜多 守 : 虚血性急性腎障害に併発する血管内皮機能障害におけるインドキシル硫酸の関与. 第 31 回 日本循環薬理学会, 12 月 (オンライン)

中川 恵輔, 堂内 政秀, 神田 将哉, 鎌田 沙彩, 小渕 修平, 田中 亮輔, 田和 正志, 松村 靖夫, 大喜多 守 : 虚血性急性腎障害時の血管内皮機能障害に対するインドキシル硫酸の関与. 第 95 回 日本薬理学会年会, 3 月 (福岡・ハイブリッド)

田和 正志, 中川 恵輔, 大喜多 守 : 可溶性グアニル酸シクラーゼ作動薬に対する血管反応性と雌と去勢雄ブタ間での違い. 第 95 回 日本薬理学会年会, 3 月 (福岡・ハイブリッド)

薬品作用解析学研究室

総説

Y. Ohno, N. Kunisawa, S. Shimizu. 2021. Emerging Roles of Astrocyte Kir4.1 Channels in the Pathogenesis and Treatment of Brain Diseases. *Int J Mol Sci.* **22(19)**:10236

國澤 直史, 芹川 忠夫, 清水 佐紀, 大野 行弘. 2021. 新規てんかん関連因子 Phf24 の機能解析. *BIO Clinica* **36(10)**:991-995

学会発表等

石崎 悠斗, 豊嶋 友未香, 三塩 沙羅, 服部 達矢, 小垂 祐貴, 日垣 愛生, 中村 義弘, 清水 佐紀, 住吉 孝明, 大野 行弘 : 統合失調症治療における新規 M4 受容体作動薬の有用性評価. 生体機能と創薬シンポジウム 2021, 8 月 (北海道・ハイブリッド)

日垣 愛生, 中村 義弘, 東野 いずみ, 石崎 悠斗, 清水 佐紀, 大野 行弘 : マウス強制水泳試験を用いた Kir4.1 チャネル阻害薬による抗うつ効果の評価. 生体機能と創薬シンポジウム 2021, 8 月 (北海道・ハイブリッド)

松村 光紗, 加藤 将貴, 國澤 直史, 中尾 宏有介, 山下 窓, 山田 裕己, 清水 佐紀, 大野 行弘 : ペンチレンテトラゾールによるけいれん発現および脳内神経興奮に対するバルプロ酸予防的投与の影響. 生体機能と創薬シンポジウム 2021, 8 月 (北海道・ハイブリッド)

清水 佐紀, 日垣 愛生, 中村 義弘, 東野 いずみ, 石崎 悠斗, 大野 行弘 : 強制水泳試験を用いた内向き整流性カリウムチャネル Kir4.1 阻害薬の抗うつ作用評価. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

三塩 沙羅, 豊嶋 友未香, 石崎 悠斗, 服部 達矢, 小垂 祐貴, 日垣 愛生, 中村 義弘, 清水 佐紀, 住吉 孝明, 大野 行弘 : 新規 M4 受容体作動薬の統合失調症治療における行動薬理学的評価. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

Saki Shimizu, Yuto Ishizaki, Tatsuya Hattori, Yuki Kotaru, Sara Mishio, Airi Maida, Mei Moriyama, Takumi Sano, Juri Miyakoshi, Takashi Kuramoto, Yukihiro Ohno : Enhanced sensitivity of epileptic seizure by deficit of hyperpolarization activated cyclic nucleotide-gated (HCN) channel 1. 第 95 回 日本薬理学会年会, 3 月 (福岡・ハイブリッド)

國澤 直史, 加藤 将貴, 高田 和志, 豊榎 美沙, 藤原 安哉子, 清水 佐紀, 大野 行弘 :
Pentylentetrazole 誘発けいれんに対するアストロサイト選択的阻害剤フルオロクエン酸の
影響. 第 95 回 日本薬理学会年会, 3 月 (福岡・ハイブリッド)

清水 佐紀, 中村 義弘, 日垣 愛生, 東野 いずみ, 石崎 悠斗, 大野 行弘 : Kir4.1 チャネル
遮断薬 quinacrine による急性うつ病モデルマウスを用いた抗うつ効果の評価. 日本薬学会
第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

石崎 悠斗, 清水 佐紀, 服部 達矢, 小垂 祐貴, 三塩 沙羅, 庫本 高志, 大野 行弘 : 過分極
活性化環状スクレオチド依存性 HCN1 チャネル欠損ラットにおけるけいれん感受性評価.
日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

國澤 直史, 加藤 将貴, 高田 和志, 豊榎 美沙, 藤原 安哉子, 清水 佐紀, 大野 行弘 : アス
トロサイト選択的抑制剤フルオロクエン酸の内向き整流性 Kir4.1 チャネル発現およびペン
チレンテトラゾールけいれん感受性に対する作用評価. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名
古屋・オンライン)

加藤 将貴, 國澤 直史, 清水 佐紀, 中尾 宏有介, 松村 光紗, 山下 窓, 山田 裕己, 芹川 忠
夫, 大野 行弘 : Phf24 欠損ラットの扁桃核における神経伝達物質遊離機能の変化. 日本薬
学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

薬物治療学研究室

学術論文

Y. Kohda. 2021. Focus on orexin-A in obese diabetes rats: upregulation of orexin-A receptor in the diabetic brain. *Fundam Toxicol Sci.* **8(7)**:235-241

Saori Tanaka, Shigenori Ito, Chikao Shimamoto, Hitoshi Matsumura, Toshio Inui, Yoshinori Marunaka, Takashi Nakahari. 2021. Nitric oxide synthesis stimulated by arachidonic acid accumulation via PPAR α in acetylcholine-stimulated gastric mucous cells. *Exp Physiol.* **106(9)**:1939-1949

学会発表等

Y. Kohda, N. Fukuishi, H. Matsumura : Hepatic glucose-dependent insulinotropic polypeptide expression is modified by ongoing thiamine supplementation in obese diabetic rats. The 48th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology, 7 月 (神戸・ハイブリット)

田中 早織, 島本 史夫, 松村 人志 : 高脂肪食および低脂肪食による食事療法が 2 型糖尿病合併脂質異常症ラットの小腸の脂肪吸収機能・脂質再合成酵素発現と血中脂質濃度改善に与える影響. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

藤塚 万椰, 田中 早織, 島本 史夫, 松村 人志 : 胃酸分泌刺激物質が及ぼす胃粘液分泌機構への影響. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

田中 早織, 近澤 有里奈, 山副 祥太郎, 松村 人志 : 2 型糖尿病発症早期段階のモデルラットに対する低脂肪食摂取による治療効果. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

薬物治療学Ⅱ研究室

学術論文

Shinohara M, Hirokawa J, Shimodaira A, Tashiro Y, Suzuki K, Ghani G, Fukumori A, Matsubara T, Morishima M, Saito Y, Murayama S, Sato N. 2021. ELISA Evaluation of Tau Accumulation in the Brains of Patients with Alzheimer Disease. *J Neuropathol Exp Neurol*. **80(7)**:652-662

総説

田上 真次, 柳田 寛太, 池田 学, 武田 雅俊, 大河内 正康. 2021. 認知症の疾患修飾薬開発の動向 A β を標的としたアルツハイマー病疾患修飾薬について. *老年精神医学雑誌* **32(11)**:1141-1153

学会発表等

Riki Maruyama, Akio Fukumori, Satoru Funamoto, Takashi Kudo, Harald Steiner : γ -Secretase exosites as targets for substrate selective lowering of A β generation. New Horizons in Alzheimer's Disease (Hybrid edition), 10 月 (VIRTUAL & LEUVEN, BELGIUM • Hybrid edition)

鈴木 香, 篠原 充, 外野 善弘, 田代 善崇, 吾甫江 艾尼, 山本 美帆, 福森 亮雄, 新堂 晃大, 真下 知士, 富本 秀和, 里 直行 : B-cell translocation gene 2 (BTG2)欠損による慢性脳低灌流および in vitro でのグリア細胞動態変化. 第 44 回 日本神経科学大会, 7 月 (神戸・オンライン)

篠原 充, 福森 亮雄, 里 直行 : 家族性変異 PSEN にも効果のある γ セクレターゼモジュレーター探索. 第 40 回 日本認知症学会学術集会, 10 月 (東京・オンライン)

佐川 実唯, 藤田 芳一, 福森 亮雄, 山口 敬子 : o-スルホフェニルフルオロンとビスマス(V)を用いるトランスフェリンの吸光光度定量法について. 第 81 回 分析化学討論会, 5 月 (山形・オンライン)

松永 秀典, 陸 馨仙, 北内 京子, 福本 裕美, 本田 知之, 福森 亮雄, 朝長 啓造 : 「抗ボルナウイルス抗体陽性で難治の精神神経症状をもつ症例に対するリバビリン治療」を行った一例. 第 25 回 日本神経感染症学会総会・学術大会, 10 月 (オンライン)

循環病態治療学研究室

学術論文

Imano H, Kato R, Nomura A, Tamura M, Yamaguchi Y, Ijiri Y, Wu H, Nakano T, Okada Y, Yamaguchi T, Izumi Y, Yoshiyama M, Asahi M, Hayashi T. 2021. Rivaroxaban Attenuates Right Ventricular Remodeling in Rats with Pulmonary Arterial Hypertension. *Biol Pharm Bull.* **44(5)**:669-677

Kato R, Ijiri Y, Hayashi T. 2021. Amiodarone, Unlike Dronedarone, Activates Inflammasomes via Its Reactive Metabolites: Implications for Amiodarone Adverse Reactions. *Chem Res Toxicol.* **34(8)**:1860-1865

Kato R, Ijiri Y. 2022. Regorafenib and reactive metabolite of sunitinib activate inflammasomes: Implications for multi tyrosine kinase inhibitor-induced immune related adverse events. *Pharmazie.* **77(2)**:54-58

著書

井尻 好雄. 2022. 6 循環器疾患 急性心筋梗塞, 9 腎疾患 慢性腎臓病 (保存期腎不全), 15 神経・筋疾患 神経痛, 21 婦人科疾患 子宮内膜症., 総編集 福井次矢, 高木誠, 小室一成, 医学書院. 今日の治療指針2022: 解説と便覧 p.389, p.637, p.1033, p.1364

解説・プロシーディング・紀要・その他

加藤 隆児, 井尻 好雄, 林 哲也. 2021. 新薬くろ~ずあっぷ (239) ロケルマ懸濁用散分包 5g, 10g. 調剤と情報 **27**:794-800

加藤 隆児, 井尻 好雄. 2021. 新薬くろ~ずあっぷ (244) イスツリサ錠 1mg, 5mg. 調剤と情報 **27**:2108-2116

加藤 隆児, 井尻 好雄. 2022. 新薬くろ~ずあっぷ (249) エフメノカプセル 100mg. 調剤と情報 **28**:612-621

学会発表等

Kato R, Ijiri Y, Hayashi T : Reactive metabolite of gefitinib activates inflammasomes leading to gefitinib-induced immune related adverse events. 19th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring and Clinical Toxicology, 9 月 (Roma)

木谷 文香, 今野 秀樹, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 田中 一彦, 林 哲也 : Aldosterone が心筋肥大時における内因性 digitalis 様物質(EDLF)である可能性. 第 37 回 日本 TDM 学会・学術大会, 5 月 (オンライン)

松林 恵理, 小柳津 亨, 西澤 峻, 林 実花, 橋本 紗良, 大西 航輝, 加藤 隆児, 山本 浩二郎, 草薙 みか, 大里 恭章, 井尻 好雄, 瓜生 恭章, 原田 博雅, 田中 一彦, 林 哲也 : 血漿中 Acetaminophen(APAP)-グルクロン酸体濃度/APAP 比率モニタリングに関する報告(2). 第 37 回 日本 TDM 学会・学術大会, 5 月 (オンライン)

中村 仁, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 林 哲也 : アミオダロンとドロネダロンのヒトマクロファージ様細胞に対する反応性. 第 42 回 日本循環制御医学会総会・学術集会, 7 月 (大阪・オンライン)

谷口 資具磨, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 林 哲也 : VEGFR TKI による inflammasome 活性化に関する検討. 第 42 回 日本循環制御医学会総会・学術集会, 7 月 (大阪・オンライン)

四宮 優, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 林 哲也 : 低酸素曝露下におけるヒト肺動脈平滑筋細胞に対する esaxerenone の影響. 第 42 回 日本循環制御医学会総会・学術集会, 7 月 (大阪・オンライン)

乾友 梨香, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 林 哲也 : 低酸素負荷誘発血管リモデリングに対するスピロノラクトンおよび PAR2 阻害薬の作用. 第 42 回 日本循環制御医学会総会・学術集会, 7 月 (大阪・オンライン)

山崎 理久, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 林 哲也 : Sugen-Hypoxia 肺高血圧モデルラットのがん治療関連心不全発症機序の検討. 第 42 回 日本循環制御医学会総会・学術集会, 7 月 (大阪・オンライン)

Ono Y, Yamazaki T, Kato R, Ijiri Y, Hayashi T, Tanaka K : Possibility of progesterone and dehydroepiandrosterone sulfate as endogenous digitalis-like factors. 第 48 回 日本毒性学会学術年会, 7 月 (神戸・オンライン)

Ohnishi K, Kato R, Ijiri Y, Hayashi T, Tanaka K : Contribution of caspase-8 and/or -9 in acetaminophen-induced liver injury distinguishes the potential to cause toxic- and immune related-adverse event. 第 48 回 日本毒性学会学術年会, 7 月 (神戸・オンライン)

梶屋 圭吾, 夏谷 格, 加藤 隆児, 井尻 好雄, 長岡 康夫, 住吉 孝明 : ボロン酸構造を有するアセトアミノフェンプロドラッグの合成と評価. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

病態生化学研究室

学術論文

A. Koike, K. Tsujinaka, K. Fujimori. 2021. Statins attenuate antiviral IFN- β and ISG expression via inhibition of IRF3 and JAK/STAT signaling in poly(I:C)-treated hyperlipidemic mice and macrophages. *FEBS J.* **288**(14):4249–4266

M. Sugimoto, R. Ko, H. Goshima, A. Koike, M. Shibano, K. Fujimori. 2021. Formononetin attenuates H₂O₂-induced cell death through decreasing ROS level by PI3K/Akt-Nrf2-activated antioxidant gene expression and suppressing MAPK-regulated apoptosis in neuronal SH-SY5Y cells. *Neurotoxicology* **85**:186-200

M. Yamamoto, Y. Nagasawa, K. Fujimori. 2021. Glycyrrhizic acid suppresses early stage of adipogenesis through repression of MEK/ERK-mediated C/EBP β and C/EBP δ expression in 3T3-L1 cells. *Chem Biol Interact.* **346**:109595

T. Maehara, K. Fujimori. 2021. Inhibition of prostaglandin F₂ α receptors exaggerates HCl-induced lung inflammation in mice. *Int J Mol Sci.* **22**(23):12843

K. Fujimori, S. Uno, K. Kuroda, C. Matsumoto, T. Maehara. 2022. Leukotriene C₄ synthase is a novel PPAR γ target gene, and leukotriene C₄ and D₄ activate adipogenesis through cysteinyl LT₁ receptors in adipocytes. *Biochim Biophys Acta Mol Cell Res.* **1869**(3):119203

解説・プロシーディング・紀要・その他

藤森 功. 2022. 薬学部における研究. *薬奨ニュース* **34**:9

学会発表等

圓 安姫乃, 小池敦資, 菊地 崇, 藤森 功 : 転位型ステロイド化合物 pleurocin A による自然免疫活性化機構の解析. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

前原 都有子, 藤森 功 : 肺炎におけるプロスタグランジン F₂ α の機能解析. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

増田 有沙, 井口 裕介, 小田 啓祐, 山下 ユキコ, 藤森 功, 合田 圭吾, 手納 直規 : 腸管への分布傾向を有する **farnesoid X receptor (FXR)** アンタゴニストの創出. 第 60 回 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会, 10 月 (オンライン)

前原 都有子, 藤森 功 : プロスタグランジン $F2\alpha$ は肺炎の悪化を抑制する. 第 94 回 日本生化学会大会, 11 月 (オンライン)

小池 敦資, 圓 安姫乃, 菊地 崇, 藤森 功 : きのこ由来転位型ステロイド化合物 **pleurocin A** による自然免疫活性化機構の解析. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

杉谷 京子, 前原 都有子, 藤森 功 : マクロファージの炎症制御におけるロイコトリエンの機能解析. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

林 薫子, 小池 敦資, 藤森 功 : プレオマイシンとリポポリサッカライド誘発性肺線維症急性増悪モデルにおけるマクロファージの役割. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

生体分析学研究室

学術論文

Suzuki T, Sato Y, Kushida Y, Tsuji M, Wakao S, Ueda K, Imai K, Iitani Y, Shimizu S, Hida H, Temma T, Saito S, Iida H, Mizuno M, Takahashi Y, Dezawa M, Borlongan CV, Hayakawa M. 2021. Intravenously delivered multilineage-differentiating stress enduring cells dampen excessive glutamate metabolism and microglial activation in experimental perinatal hypoxic ischemic encephalopathy. *J Cereb Blood Flow Metab.* **41(7)**:1707-1720

Hashimoto T, Kondo N, Hirata M, Temma T. 2021. Development of radioiodinated pyrimidinopyridone derivatives as targeted imaging probes of activated p38 α for single photon emission computed tomography. *Ann Nucl Med.* **35(12)**:1293-1304

著書

天満 敬. 2021. 第9章 物理的画像診断法とそれに用いる診断薬, 編集: 佐治英郎・向高弘・月本光俊, 南江堂 (東京). *新 放射化学・放射性医薬品学 (改訂第5版)* 245-269

特許

天満 敬, 近藤 直哉, 村田 優介, 竹中 宏志, 大田 洋一郎, 壽谷 彩, 石村 美紀, 鈴木 健介. 3-ボロノーフェニルアラニンの誘導体, 特願 2021-124381, 大阪医科薬科大学, ステラファーマ株式会社

学会発表等

Chie Suzuki, Mutsumi Kosugi, Kaori Araki, Masahiko Hirata, Takashi Temma, Yasuhiro Magata : Development of a novel Epidermal growth factor receptor tyrosine kinase (EGFR-TK) PET probe for personalized medicine. The 11th China-Japan-Korea Symposium on Radiopharmaceutical Sciences, 11 月 (Seoul, virtually)

尾江 悟, 田中 裕之, 佐藤 隆浩, 水野 雄貴, 宿里 充穂, 近藤 直哉, 天満 敬, 秋澤 宏行 : Fatty acid binding protein-4 標的 PET プローブの開発に向けた新規フッ化アリール結合 triazolopyrimidine 誘導体の合成. 第 65 回 日本薬学会関東支部大会, 9 月 (オンライン)

高田 慎也, 近藤 直哉, 萩森 政頼, 天満 敬 : ホウ素中性子捕捉療法用薬剤の有効性評価のためのボロン酸検出用蛍光センサーの開発. 日本分析化学会第 70 年会, 9 月 (オンライン)

石松 花蓮, 近藤 直哉, 西川 侑里, 天満 敬 : STAT3 標的放射性分子イメージングプローブの開発に向けた基礎検討. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

橋本 知行, 近藤 直哉, 牧野 顕, 清野 泰, 天満 敬 : ピリミジノピリドン骨格を有する新規放射性臭素標識 p38 α 標的プローブの開発. 第 61 回 日本核医学会学術総会, 11 月 (名古屋・オンライン)

高田 慎也, 近藤 直哉, 萩森 政頼, 天満 敬 : 2-(2-Pyridyl)phenol 骨格を有するボロン酸蛍光センサー MB-1 の蛍光特性改善に関する検討. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

平野 楓子, 近藤 直哉, 田前 里桜, 天満 敬 : BNCT 用薬剤 4-BPA の難水溶性改善を目的とした 3-ボロノフェニルアラニンの有効性評価. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

大島 葵, 近藤 直哉, 天満 敬 : アルブミンによる効率的腫瘍送達を目指した放射性ヨウ素標識二環性 RGD ペプチドプローブの開発. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

近藤 直哉, 二木 綾香, 天満 敬 : GLP-1 受容体を標的とした架橋型イメージングプローブの開発. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

田口 ありさ, 近藤 直哉, 藺田 珠実, 尾江 悟, 秋澤 宏行, 天満 敬 : トリアゾロピリミジノン骨格を有する脂肪細胞型脂肪酸結合タンパク質標的プローブの改善に関する検討. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

薬剤学研究室

総説

駒澤 伸泰, 寺崎 文生, 小林 道太郎, 鈴木 久美, 永井 純也, 中野 隆史. 2021. 医療系学部におけるデータサイエンス・人工知能教育導入の必要性. *大阪医科薬科大学医学会雑誌* **80(3)**:124-129

著書

永井 純也. 2021. 31 インスリン製剤に超速効型から持効型まで揃えられているのはなぜ? 製剤学的工夫とは?, 北河修二 編集代表, 株式会社じほう (東京). *できる薬剤師と呼ばれるために 上手に使いたい薬学ナレッジ101* 94-97

学会発表等

永井 純也 : コロナ禍における大阪薬科大学の令和2年度教育研究活動への対応について. 日本薬剤学会第36年会, 5月 (徳島・オンライン)

Hongxin Sun, Yumiko Takebayashi, Hideyuki Motohashi, Junya Nagai : Cellular uptake properties of albumin and PLGA nanoparticles in human adipose-derived stem cells. 日本薬剤学会 第36年会, 5月 (徳島・オンライン)

大西 未企代, 落合 春香, 西脇 唯, 吉川 由理佳, 竹林 裕美子, 本橋 秀之, 永井 純也 : アドリアマイシン誘発アルブミン尿発症マウスにおける腎 HIF-1 発現と尿中 PGE2 排泄量の変動. 日本薬剤学会 第36年会, 5月 (徳島・オンライン)

土佐 勇策, 池田 祐介, 竹林 裕美子, 孫 紅昕, 本橋 秀之, 永井 純也 : ヒト脂肪幹細胞における GLUT1 および ABCG2 の発現・機能に及ぼす低酸素培養の影響. 日本薬剤学会 第36年会, 5月 (徳島・オンライン)

足立 悠, 藤田 晋太郎, 竹林 裕美子, 本橋 秀之, 永井 純也 : 糖尿病マーカー 1,5-anhydroglucitol のヒト腎近位尿細管上皮細胞 HK-2 への取り込み. 日本医療薬学会 第4回フレッシュャーズカンファランス, 6月 (大阪・オンライン)

足立 瑠衣, 山口 大輝, 中達 穂, 竹林 裕美子, 本橋 秀之, 永井 純也 : 腎近位尿細管上皮細胞株 HK-2 におけるアルブミン誘発 HIF-1 活性化と PGE2 受容体の関与. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

永井 純也, 孫 紅昕, 乾 和正, 永木 千尋, 竹林 裕美子, 本橋 秀之 : 第 42 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム. 第 42 回 生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 10 月 (京都・オンライン)

Hideyuki Motohashi, Juka Ishi, Minami Ota, Ayana Funabashi, Mayuka Hosoda, Yumiko Takebayashi, Junya Nagai : Role of drug efflux transporters in cytotoxic effect of bendamustine in the RPTEC/TERT1 human renal proximal tubular epithelial cell line. 日本薬物動態学会 第 36 回年会, 11 月 (群馬・オンライン)

本橋 秀之, 伊藤 美羽, 上野 楓, 竹林 裕美子, 永井 純也 : ラット血漿中 1,5-anhydroglucitol 濃度に及ぼす SGLT2 阻害薬ダパグリフロジン投与の影響. 第 42 回 日本臨床薬理学会学術総会, 12 月 (仙台・ハイブリット)

清水 愛莉, 橋本 歩, 上野 楓, 伊藤 美羽, 竹林 裕美子, 本橋 秀之, 永井 純也 : ラットにおける SGLT2 阻害薬ダパグリフロジン投与による 1,5-anhydroglucitol 尿中排泄への影響. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

製剤設計学研究室

学術論文

- H. Uchiyama, T. Ando, K. Kadota, Y. Tozuka. 2021. The formation of an amorphous composite between flavonoid compounds: Enhanced solubility in both oil components and aqueous media. *J Drug Deliv Sci Tech.* **62**:102410
- C. Aoki, X. Ma, K. Higashi, Y. Ishizuka, K. Ueda, K. Kadota, K. Fukuzawa, Y. Tozuka, K. Kawakami, E. Yonemochi, K. Moribe. 2021. Stabilization mechanism of amorphous carbamazepine by transglycosylated rutin, a non-polymeric amorphous additive with high glass transition temperature. *Int J Pharm.* **600**:120491
- S. Nogami, K. Minoura, N. Kiminami, Y. Kitaura, H. Uchiyama, K. Kadota, Y. Tozuka. 2021. Effect of the addition of cyclodextrin to spray-dried particles of curcumin/polyvinylpyrrolidone on the supersaturated state of curcumin. *Adv Powder Technol.* **32(5)**:1750-1756
- K. Kadota, H. Terada, A. Fujimoto, S. Nogami, H. Uchiyama, Y. Tozuka. 2021. Formulation and evaluation of bitter taste-masked orally disintegrating tablets of high memantine hydrochloride loaded granules coated with polymer via layering technique. *Int J Pharm.* **604**:120725
- R. Okura, H. Uchiyama, K. Kadota, Y. Tozuka. 2021. Hydrogen bonding from crystalline water mediates the hydration/dehydration of mequitazine glycolate. *Cryst Eng Comm.* **23**:4816
- Y. Hatanaka, H. Uchiyama, K. Kadota, Y. Tozuka. 2021. Improved solubility and permeability based on nifedipine-ketoconazole coamorphous formation with simultaneous dissolution behavior. *J Drug Deliv Sci Tech.* **65**:102715
- J. Y. Tse, A. Koike, K. Kadota, H. Uchiyama, K. Fujimori, Y. Tozuka. 2021. Porous Particles and Novel carrier particles with enhanced penetration for efficient pulmonary delivery of antitubercular drugs. *Euro J Pharm Biopharm.* **167**:116-126
- S. Nogami, K. Kadota, H. Uchiyama, H. Arima, H. Iwase, T. Tominaga, T. Yamada, S. Takata, M. Shibayama, Y. Tozuka. 2021. Structural changes in pH-responsive gelatin/hydroxypropyl methylcellulose phthalate blends aimed at drug-release systems. *Int J Biol Macromol.* **190**:989-998

著書

戸塚 裕一（分担執筆）. 2021. LSEVIER. *基礎から学ぶ製剤化のサイエンス* (第4 版) 303-331

戸塚 裕一, 門田 和紀（分担執筆）. 2022. 6 章. DDS 製剤における製剤設計 第3 節 経肺投与製剤の製剤設計の考え方, 情報機構. *医薬品における DDS 技術と製剤開発への応用* 347-363

解説・プロシーディング・紀要・その他

内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一. 2021. 化粧品開発の最新動向Ⅱー有用成分と機能性付与ー ケルセチン含有化粧品の最有効使用のための有機ナノコンポジット設計. *ファインケミカル* **50(8)**:18-24

特許

戸塚 裕一, 門田 和紀, 巽 一憲, 水垂 陽子, 山田 航. 経口組成物, 特許 6986345, ロート製薬

学会発表等

K. Kadota, J. Y. Tse, T. Nakajima, S. Tanaka, H. Uchiyama, Y. Tozuka : Application of spray-dried particles of drug-containing cyclodextrin metal-organic framework to pulmonary drug delivery. 8th Asian Particle Technology Symposium, 10 月 (大阪)

J. Y. Tse, G. Nemoto, H. Uchiyama, K. Kadota, Y. Tozuka : Composite spray freeze-dried particles for functional food with improved dissolution properties by enhanced water dispersibility. 8th Asian Particle Technology Symposium, 10 月 (大阪)

Y. Hatanaka, H. Uchiyama, K. Kadota, Y. Tozuka : The usefulness of naringenin glycoside for designing an amorphous particle with enhanced naringenin solubility. 8th Asian Particle Technology Symposium, 10 月 (大阪)

野上 聡, 内山 博雅, 門田 和紀, 有馬 寛, 岩瀬 裕希, 富永 大輝, 山田 武, 高田 慎一, 柴山 充弘, 戸塚 裕一 : Gelatin/腸溶性ポリマー混合系による pH 応答薬物放出能を有する経口ゲル製剤の設計. 日本薬剤学会第 36 年会, 5 月 (徳島・オンライン)

深田 真由, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一 : 噴霧乾燥法により作製したジフェンヒド
ラミン塩酸塩粒子の味覚センサーによる苦味評価. 日本薬剤学会第 36 年会, 5 月 (徳島・オ
ンライン)

入船 三奈子, 謝 晉頤, 小池 敦資, 内山 博雅, 門田 和紀, 藤森 功, 戸塚 裕一 : 新規キャ
リア粒子による肺深部への高効率な到達性を実現した抗結核薬吸入粉末剤の設計. 日本薬
剤学会第 36 年会, 5 月 (徳島・オンライン)

謝 晉頤, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一, 中島 稔生, 田中 俊輔 : 噴霧乾燥法による薬
物含有シクロデキストリン金属有機構造体の創製及び経肺製剤への応用. 粉体工学会 2021
年度 春期研究発表会, 6 月 (東京・オンライン)

松本 功一, 内山 博雅, 門田 和紀, 飛田 哲志, 立花 功, 戸塚 裕一 : *In silico* 技術による慢
性閉塞性肺疾患患者の肺内粒子沈着解析 —COPD 患者毎の肺内粒子挙動評価—. 第 71 回
日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

安藤 憲太, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一 : 金属塩及びクルクミンの添加がグリチル
リチン酸モノアンモニウムのゲル化に及ぼす影響. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大
会, 10 月 (大阪・オンライン)

畑中 友太, 内山 博雅, 門田 和紀, 箕浦 克彦, 戸塚 裕一 : Indomethacin-sulindac 間のコア
モルファス形成が膜透過性に及ぼす影響. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンラ
イン)

福塚 亮介, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一 : 非晶質複合体を利用した自己乳化処方へ
の分散性向上に関する検討. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

原 真悟, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一 : 塩形成を指向したカウンター化合物の選択
による co-amorphous salt の設計. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

大西 あみる, 野上 聡, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一 : 難溶性ポリフェノールの可溶
化及び服用性を改善可能なゼリー剤の設計. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オン
ライン)

大家 星利奈, 内山 博雅, 門田 和紀, 戸塚 裕一 : カテキンの渋味を抑制したゼリー製剤
の設計と評価. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

社会薬学・薬局管理学研究室

学術論文

M.Onda, M. Horiguchi, M. Domichi, N. Sakane. 2021. A Pragmatic Pilot Cluster-Randomized Study of Tobacco Screening and Smoking Cessation Program for Community Pharmacies in Japan: FINE Program. *J Smok Cessat.* **3**:9983515

Masaki Shoji, Naoki Sakane, Naoki Ito, Keiji Sunayama, Mitsuko Onda. 2022. A Cross-sectional Study of Demonstrating Expertise and Job Satisfaction in Pharmacists and Dietitians Working in Community Pharmacies in Japan . *Pharm Pract (Granada)*. **20(1)**:2605

恩田 光子, 三宅 修, 西村 陽蔵. 2021. 外来化学療法における持続型 G-CSF 製剤投与に係る患者と医療者の負担及び選好に関する横断的研究. *Pharma Medica* **39(8)**:74-88

島田 京司, 庄司 雅紀, 藤原 篤子, 恩田 光子. 2022. うつ病患者の服薬自己中断を防ぐために薬局薬剤師が服薬指導中に工夫している内容に関するテキストアナリシス. *社会薬学* **40(2)**:98-104

総説

上田 昌宏, 恩田 光子. 2021. 大阪薬科大学でのチーム基盤型学習による EBM 演習. *薬学教育* **6**

庄司 雅紀. 2021. 薬局薬剤師による認知行動療法を基盤とした介入がうつ病患者の服薬アドヒアランスに与える影響およびその費用対効果に関する検証. *医療と社会* **31(3)**:462

庄司 雅紀. 2021. 薬局における栄養士・薬剤師の協働による 2 型糖尿病患者支援に関する研究. *医療の広場* **61**:11-13

庄司 雅紀. 2021. 認知行動療法を応用した服薬支援がうつ病患者の服薬アドヒアランス等に与える効果に関する非無作為化比較試験. *調剤と情報* **27(7)**:1278-1281

著書

恩田 光子. 2021. 南山 (東京). *薬事法規・制度・倫理マニュアル (改訂 15 版)* pp.2-10, 18-24, 105-111, 193-204

恩田 光子. 2021. 第7章 保健・医療・福祉の制度, 化学同人 (京都). *社会・環境と健康 公衆衛生学 (新食品・栄養科学シリーズ)* pp.165-175

解説・プロシーディング・紀要・その他

恩田 光子. 2021. 第4章 アメリカにおける調査結果. *令和2年度 厚生労働省保健局医療課による委託事業「薬剤使用状況等に関する調査研究報告書」* 179-249

学会発表等

庄司 雅紀, 藤原 篤子, 今福 輪太郎, 島田 京司, 恩田 光子 : 薬局薬剤師が抗うつ薬の服用に抵抗感を抱く患者に対して実践している工夫に関するテキストアナリシス. 第5回 日本精神薬学会総会・学術集会, 8月 (福岡・オンデマンド+Live 配信)

庄司 雅紀, 坂根 直樹, 伊藤 直紀, 砂山 慶次, 恩田 光子 : 薬局薬剤師および栄養士の協働による2型糖尿病患者支援の実態に関する横断的研究. 第15回 日本薬局学会 学術総会, 11月 (Web 開催)

藤井 茉裕, 寄本 梨左, 服部 真人, 足立 志菜, 庄司 雅紀, 恩田 光子 : 根拠に基づく OTC 医薬品勧奨に対する薬局薬剤師の意識. 第23回 日本医薬品情報学会総会・学術大会, 6月 (大阪・オンデマンド+Live 配信)

足立 志菜, 寄本 梨左, 服部 真人, 藤井 茉裕, 庄司 雅紀, 恩田 光子 : セルフメディケーション支援に対する自己効力感と EBP(根拠に基づく実務)との関連. 第23回 日本医薬品情報学会総会・学術大会, 6月 (大阪・オンデマンド+Live 配信)

服部 真人, 足立 志菜, 藤井 茉裕, 寄本 梨左, 庄司 雅紀, 恩田 光子 : セルフメディケーション支援に対する薬剤師の自己効力感と薬剤師属性との関連. 第23回 日本医薬品情報学会総会・学術大会, 6月 (大阪・オンデマンド+Live 配信)

寄本 梨左, 藤井 茉裕, 服部 真人, 足立 志菜, 庄司 雅紀, 恩田 光子 : セルフメディケーション支援に対する薬剤師の自己効力感と心理社会的要因との関連. 第23回 日本医薬品情報学会総会・学術大会, 6月 (大阪・オンデマンド+Live 配信)

庄司 雅紀, 坂根 直樹, 伊藤 直紀, 砂山 慶次, 恩田 光子 : 薬局薬剤師および栄養士の協働による2型糖尿病患者支援に対する意識に関する質問票の開発及び妥当性・信頼性の検証. 日本社会薬学会 第39年会, 9月 (Web開催)

小林 雅子, 廣江 柊子, 堀口 道子, 恩田 光子, 同道 正行, 坂根 直樹 : 薬局薬剤師による禁煙プログラム(FINEプログラム)に参加した患者を卒煙に導いた事例. 第15回 日本禁煙学会学術総会, 10月 (大分・オンデマンド+Live配信)

堀口 道子, 廣江 柊子, 小林 雅子, 恩田 光子, 同道 正行, 坂根 直樹 : 薬局での禁煙支援における成功要因の検討. 第15回 日本禁煙学会学術総会, 10月 (大分・オンデマンド+Live配信)

庄司 雅紀, 坂根 直樹, 砂山 慶次, 伊藤 直紀, 恩田 光子 : 薬局に常駐する栄養士と薬剤師の協働による、2型糖尿病患者支援に関する前後比較試験(PDCA study) Study Protocol. 日本薬学会第141年会, 3月 (広島・オンライン)

七海 陽子, 吉谷 淳至, 恩田 光子 : 薬局薬剤師による認知症患者への介入が介護負担に与える影響-介入プロトコルの開発と実行可能性試験-. 第5回 日本老年薬学会学術大会, 5月 (東京)

庄司 雅紀 : うつ病患者支援における医薬連携の現状と、患者心理に配慮した服薬支援の実現に向けた提言. 第18回 日本うつ病学会総会/ 第21回 日本認知療法・認知行動療法学会, 7月 (横浜・オンデマンド+Live配信)

今福 輪太郎, 長谷 由紀子, 庄司 雅紀 : 在留外国人患者対応における医療者の調整行動に関する予備調査. 第53回 日本医学教育学会大会, 7月 (オンライン)

臨床漢方薬学研究室

学術論文

照井 正樹, 熊谷 和幸, 和田 浩志, 飯田 修, 加賀 亮司, 柏木 翔和, 尾崎 和男, 芝野 真喜雄. . 秋田県美郷町における甘草生産の試み (1) : ウラルカンゾウ (*Glycyrrhiza uralensis* Fischer) 実生株からの個体選抜. *薬用植物研究* **43(1)**:10-20

尾崎 和男, 野崎 香樹, 西尾 基之, 井本 洋輔, 芝野 真喜雄. . ウラルカンゾウの栽培研究 : ストロンの植付ける方向と深度が出芽ならびに発根に及ぼす影響. *薬用植物研究* **43(2)**:21-27

学会発表等

田中 優花, 中尾 祐士, 飯田 修, 尾崎 和男, 松田 昂樹, 芝野 真喜雄 : キキョウのサポニン含量の季節的変動について. 薬用植物栽培研究会 第3回研究総会, 12月 (佐賀・オンライン)

尾崎 和男, 太田 巳翔, 西尾 基之, 芝野 真喜雄 : キキョウの種子生産とその発芽特性について. 薬用植物栽培研究会 第3回研究総会, 12月 (佐賀・オンライン)

古平 栄一, 松田 みなみ, 尾崎 和男, 芝野 真喜雄 : 収穫前における直前施肥がジャノヒゲの根の膨大に及ぼす影響. 薬用植物栽培研究会 第3回研究総会, 12月 (佐賀・オンライン)

小島 正明, 芝野 真喜雄, 古平 栄一, 野崎 香樹, 安藤 匡哉, 西尾 基之 : 京都薬用植物園におけるムラサキの生育に及ぼす遮光率および遮光期間の影響. 薬用植物栽培研究会 第3回研究総会, 12月 (佐賀・オンライン)

臨床薬学教育研究センター

学術論文

Megumi Ikura, Tsutomu Nakamura, Takaya Uno, Kazuki Nakagita, Hiromi Takenaka, Sachi Matsuda, Ryosuke Oda, Kyoichi Wada, Yuji Hattori, Osamu Seguchi, Masanobu Yanase, Naoki Hayakawa, Norihide Fukushima. 2021. Discontinuation of oral amphotericin B therapy does not influence the pharmacokinetics of tacrolimus in heart transplant patients. *Int J Clin Pharmacol Ther*. **59(8)**:566-571

T. Igarashi, S. Kishi, N. Hosono, T. Higashi, T. Iwao, R. Yano, H. Tsukamoto, N. Goto, T. Yamauchi, T. Ueda. 2021. Population pharmacokinetic model development and exposure–response analysis of vincristine in patients with malignant lymphoma. *Cancer Chemother Pharmacol*. **87(4)**:501-511

T. Aratani, H. Tsukamoto, T. Higashi, T. Kodawara, R. Yano, Y. Hida, H. Iwasaki, N. Goto. 2021. Association of methicillin resistance with mortality of hospital-acquired *Staphylococcus aureus* bacteremia. *J Int Med Res*. **49(11)**:3000605211058872

Wakabayashi T, Ueno S, Nakatsuji T, Hirai T, Niinomi I, Oyama S, Inada A, Kambara H, Iwanaga K, Hosohata K. 2021. Safety profiles of new xanthine oxidase inhibitors: A post-marketing study. *Int J Clin Pharmacol Ther*. **59(5)**:372-377

Hosohata K, Matsuoka H, Kumagai E. 2021. Association of urinary vanin-2 with kidney function decline in hypertensive patients. *J Clin Hypertens (Greenwich)*. **23(7)**:1316-1321

Kambara H, Oyama S, Inada A, Niinomi I, Wakabayashi T, Hosohata K. 2021. Current status of adverse event profile of tacrolimus in patients with solid organ transplantation from a pharmacovigilance study. *Int J Clin Pharmacol Ther*. **59(12)**:753-759

Hosohata K, Jin D, Takai S. 2021. Glaucocalyxin A Ameliorates Hypoxia/Reoxygenation-Induced Injury in Human Renal Proximal Tubular Epithelial Cell Line HK-2 Cells. *Int J Mol Sci*. **23(1)**:446

谷澤 範彦, 前田 太一, 吉村 はる美, 金森 紀幸, 谷山 幸信, 草富 翔太, 細谷 拓史, 矢野 良一, 後藤 伸之, 小川 純也. 2021. シスプラチン含有レジメンにおけるハイドレーション法変更前後の安全性の評価. *日本病院薬剤師会雑誌雑誌* **57(4)**:433-440

Kanbayashi Y, Amaya F, Ueno H, Tabuchi Y, Ishikawa T, Takayama K, Taguchi T. 2021. Factors affecting the effect of naldemedine for opioid-induced constipation: a single-institution, retrospective analysis. *Pharmazie*. **76(4)**:175-178

Kanbayashi Y, Sakaguchi K, Ishikawa T, Takayama K, Taguchi T. 2021. Predictors for development of palbociclib-induced neutropenia in breast cancer patients as determined by ordered logistic regression analysis. *Sci Rep* **11(1)**:20055

総説

細畑 圭子, 金 徳男, 高井 真司. 2021. 食塩感受性高血圧による腎障害を早期に検出するバイオマーカー. *BIO Clinica* **36(11)**:79-83

細畑 圭子, 金 徳男, 高井 真司, 松岡 裕之, 熊谷 悦子. 2021. 超高齢化社会に向けた腎障害早期検出の試み. *地域ケアリング* **23(14)**:53-57

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子. 2022. 高齢者における腎機能低下を予測する尿中バイオマーカー. *Precision Medicine* **5(3)**:90-94

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子. 2022. 高血圧患者における腎機能低下と尿中バイオマーカーとの関連. *日本臨床生理学会雑誌* **52(1)**:19-23

神林 祐子. 2021. 【お薬立ち BOOK2022】がん疼痛. *薬局 Vol.73 No.4 増刊号 お薬立ち BOOK 2022* **73(4)**:1491-1501

著書

Megumi Ikura, Kazuki Nakagita, Takaya Uno, Hiromi Takenaka, Sachi Matsuda, Miho Yoshii, Rikako Nagata, Ichiro Nakakura, Naoki Hayakawa, Tsutomu Nakamura, Kyoichi Wada, Osamu Seguchi. 2022. Role of the Transplant Pharmacist. *Heart Transplantation* 1-18

中村 任. 2021. Q32 インスリンは注射部位によって効き方に違いはある？, Q44 高齢者の薬の服用で注意すべきことは？, Q81 経口投与した薬物の溶解速度は、血中濃度にどのように影響を与える？, 編集代表：北河修治, 編集：清水忠, 中川素子, 中村, 土生康司, 矢野育子, 株式会社じほう (東京). *できる薬剤師とよばれるために 上手に使いたい薬学ナレッジ101* pp.98-101, pp.138-140, pp.258-261

角山 香織, 津田 真弘. 2021. (医薬品各条の副作用の項目を2名で担当), 赤池昭紀, 伊賀立二, 市川厚, 他編, 柴崎正勝, 乾賢一, 他監修, 廣川書店 (東京). 第十八改正日本薬局方解説書 -条文・注・解説- pp.C29-C6391

神林 祐子. 2022. ㉔ 鎮痛薬, 名郷直樹編著, 南山堂, (東京). *Evidence Update 2022: 最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する* pp.125-128

解説・プロシーディング・紀要・その他

角山 香織, 駒澤 伸泰, 佐々木 綾子, 赤澤 千春, 寺崎 文生, 中村 敏明. 2022. 大学間の物理的課題を乗り越える多職種連携教育の授業方法の評価. *大阪医科薬科大学薬学部雑誌* 1:109-118,

中村 敏明, 長宅 真幸, 角山 香織. 2022. 学生の実務実習中のモチベーションに与える薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂の影響. *大阪医科薬科大学薬学部雑誌* 1:101-107

神林 祐子, 石川 剛, 田渕 祐輔, 阪口 晃一, 大内 佳美, 大辻 英吾, 高山 浩一, 田口 哲也. 2021. VEGF 阻害剤(bevacizumab, ramucirumab, aflibercept)による蛋白尿発症の要因解析:単施設後ろ向き研究. *日本緩和医療薬学会年会プログラム・要旨集 14th*

神林 祐子, 天谷 文昌, 上野 博司, 田渕 祐輔, 石川 剛, 高山 浩一, 田口 哲也. 2021. オピオイド誘発性便秘に対するナルデメジンの効果に影響を与える要因解析:単一施設後ろ向き研究. *日本がんサポートィブケア学会学術集会プログラム・抄録集 6th (CD-ROM)*

堀井 孝容, 小西 英幸, 神林 祐子, 伊藤 義人. 2021. プロトンポンプインヒビターやH2受容体拮抗薬の前投薬はヘリコバクターピロリ鏡検法の診断率に影響を及ぼすのか?. *日本消化器病学会雑誌* 118

特許

細畑 圭子, 高井 真司, 米山 弘樹, 金 徳男, 宇佐美 吉英. V a n i n - 1 阻害剤, 特願 2021-204876, 大阪医科薬科大学

学会発表等

堀 聖, 音窪 麻衣, 岩永 一範, 小田 亮介, 服部 雄司, 木村 麻子, 寺川 伸江, 中村 任 :
アスピリン末およびクロピドグレル錠の簡易懸濁法適用時の投与量評価. 第 23 回 日本医
薬品情報学会総会・学術大会, 6 月 (大阪・オンデマンド+Live 配信)

早瀬 琴香, 音窪 麻衣, 和田 恭一, 井倉 恵, 宇野 貴哉, 中北 和樹, 瀬口 理, 早川 直樹,
福嶋 教偉, 中村 任 : 心臓移植後のバルガンシクロビル予防投与患者における好中球減少
のリスク評価. 第 23 回 日本医薬品情報学会総会・学術大会, 6 月 (大阪・オンデマンド
+Live 配信)

大嶋 健太, 音窪 麻衣, 寺川 伸江, 岩永 一範, 角山 香織, 中村 敏明, 早川 直樹, 中村
任 : イルベサルタン/アムロジピン配合錠処方歴と脳心血管イベント発症との関連解析. 日
本医療薬学会 第 4 回フレッシュャーズカンファランス, 6 月 (大阪・オンライン)

釈迦戸 愛, 音窪 麻衣, 中村 任, 岩永 一範 : ピペリジン骨格を有する OATP 基質薬物の
溶解性におよぼすアップルジュースの影響. 日本医療薬学会 第 4 回フレッシュャーズカンフ
ァランス, 6 月 (大阪・オンライン)

音窪 麻衣, 和田 恭一, 井倉 恵, 宇野 貴哉, 中北 和樹, 早川 直樹, 渡邊 琢也, 瀬口 理,
福嶋 教偉, 中村 任 : 心臓移植後の外来患者における好中球減少の発現予測因子の探索. 日
本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

矢野 良一, 長谷川 裕也 : 病棟業務を可視化する指標と方法を再考する -今こそ示した
い！病棟における薬剤師のプレゼンス-. 第 31 回 日本医療薬学会年会, 10 月 (オンデマン
ド+Live 配信)

木村 隆介, 馬庭 朝香, 長坂 祐理子, 松藤 孝志, 円山 圭一, 岩永 一範 : 皮膚保湿成分ポ
リオキシプロピレンメチルグルコシドが美白成分の皮膚浸透性に及ぼす影響. 第 37 回 日
本 DDS 学会, 6 月 (千葉・オンライン)

細畑 圭子, 金 徳男, 高井 真司, 岩永 一範 : 腎虚血再灌流モデルラットを用いた急性腎
障害回復過程におけるバイオマーカー評価. 第 26 回 日本病態プロテアーゼ学会, 8 月 (オ
ンデマンド+Live 配信)

飯田 達也, 細畑 圭子, 若林 智仁, 内田 まやこ, 岩永 一範 : Safety profiles of oral anticoagulants using the Japanese spontaneous reporting database. 第 15 回 次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム, 10 月 (オンデマンド+Live 配信)

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子, 岩永 一範 : 高血圧患者における腎機能低下を予測する因子についての検討. 第 15 回 腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 2021, 11 月 (オンデマンド+Live 配信)

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子, 岩永 一範 : 高血圧患者における尿中バイオマーカーの臨床的有用性～腎機能低下予測の観点から～. 日本薬物動態学会 第 36 回年会 高崎, 11 月 (高崎・Web 開催)

細畑 圭子, 神原 弘子, 若林 智仁, 新家 郁, 尾山 早紀, 稲田 文香, 岩永 一範 : 医薬品副作用データベースを利用した胃酸分泌抑制薬の安全性解析. 第 41 回 医療情報学連合大会・第 22 回 日本医療情報学会学術大会, 11 月 (名古屋・ハイブリット開催)

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子, 岩永 一範 : 高血圧患者における腎機能低下と尿中バイオマーカーとの関連. 第 58 回 日本臨床生理学会総会, 11 月 (Web 開催)

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子, 岩永 一範 : 高血圧患者における尿中バイオマーカーの腎機能低下リスク予測能. 第 42 回 日本臨床薬理学会学術総会, 12 月 (仙台・ハイブリット開催)

田伏 茉利栄, 細畑 圭子, 若林 智仁, 飯田 達也, 岩永 一範 : 有害事象自発報告データベースを用いた精神神経系有害事象の解析. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

山田 和真, 細畑 圭子, 若林 智仁, 飯田 達也, 岩永 一範 : 有害事象自発報告データベースを用いた TNF- α 阻害薬の有害事象プロファイルの比較解析. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

細畑 圭子, 金 徳男, 高井 真司, 岩永 一範 : 腎虚血再灌流モデルにおける腎障害バイオマーカーの挙動評価. 第 99 回 日本生理学会大会, 3 月 (仙台・ハイブリット開催)

細畑 圭子, 松岡 裕之, 熊谷 悦子, 岩永 一範 : 外来高血圧患者における腎機能低下を予測する尿中バイオマーカー. 第 55 回 日本成人病 (生活習慣病) 学会学術集会, 1 月 (東京・ハイブリット開催)

細畑 圭子, 飯田 達也, 若林 智仁, 新家 郁, 内田 まやこ, 尾山 早紀, 稲田 文香, 岩永 一範 : 有害事象自発報告データベースを用いた経口抗凝固薬による有害事象発現リスクの評価. 第 55 回 日本成人病 (生活習慣病) 学会学術集会, 1 月 (東京・ハイブリット開催)

細畑 圭子, 金 徳男, 高井 真司, 岩永 一範 : 腎虚血再灌流モデルラットを用いた腎障害バイオマーカーの挙動評価. 第 99 回 日本生理学会大会, 3 月 (仙台・ハイブリット開催)

角山 香織, 三宅 萌瑛, 中村 敏明 : ラモトリギンの皮膚障害発症リスク低減に及ぼす安全性速報の効果. 第 23 回 日本医薬品情報学会総会・学術大会, 6 月 (大阪・オンデマンド+Live 配信)

川崎 慎一郎, 東 克洋, 永松 新吾, 角山 香織, 中村 敏明 : 薬局薬剤師による予防接種実施に関する意識調査. 日本社会薬学会 第 39 年会, 9 月 (Web 開催)

片岡 憲昭, 倉知 果純, 遠藤 久美子, 坂井 紀水, 畑 武生, 鈴木 典子, 角山 香織, 羽田 理恵, 中村 敏明, 西原 雅美, 内山 和久 : 連携病院とのグループ実習における実習順序の影響～学生の到達度からみた評価～. 医療薬学フォーラム 2021 第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 7 月 (オンデマンド+Live 配信)

駒澤 伸泰, 寺崎 文生, 角山 香織, カルデナス暁東, 小林 道太郎, 中村 敏明, 中野 隆史, 池西 悦子, 鈴木 久美, 赤澤 千春, 永井 純也, 河田 了 : 大学統合へ向けた初年次から高学年までの垂直統合型多職種連携教育カリキュラム編成. 第 53 回 日本医学教育学会大会, 7 月 (オンライン)

片岡 憲昭, 倉知 果純, 遠藤 久美子, 坂井 紀水, 畑 武生, 鈴木 典子, 角山 香織, 羽田 理恵, 中村 敏明, 西原 雅美, 内山 和久 : オンデマンド教材を併用した臨床実習形式の評価. 第 31 回 日本医療薬学会年会, 10 月 (オンデマンド+Live 配信)

三宅 萌瑛, 角山 香織, 中村 敏明 : ラモトリギンの皮膚障害発症リスクに及ぼす併用薬の影響. 日本アブライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会 第 11 回 学術大会, 9 月 (Web 開催)

増田 純一, 矢倉 裕輝, 平野 淳, 吉野 宗宏, 栞原 健, 菊地 正 : 抗 HIV 薬血中濃度測定研究班活動報告. 第 35 回 日本エイズ学会学術集会・総会, 11 月 (東京・ハイブリット)

栞原 健 : 薬物血中濃度測定の臨床現場への定着と HIV 診療における薬剤師の歩み. 第 35 回 日本エイズ学会学術集会・総会, 11 月 (東京・ハイブリット)

和田 恭一 : 心臓移植医療における薬物代謝酵素の遺伝子多型情報や TDM の活用. 第 37 回 日本 TDM 学会・学術集会, 5 月 (オンデマンド+Live 配信)

吉井 美帆, 井倉 恵, 松田 紗知, 竹中 裕美, 中北 和樹, 宇野 貴哉, 服部 雄司, 望月 宏樹, 渡邊 琢也, 塚本 泰正, 瀬口 理, 早川 直樹, 和田 恭一, 福嶋 教偉 : 心移植時における薬剤師の関わり. 第 57 回 日本移植学会総会, 9 月 (東京・Live 配信)

堀井 孝容, 小西 英幸, 神林 祐子, 伊藤 義人 : プロトンポンプインヒビターや H₂ 受容体拮抗薬の前投薬はヘリコバクターピロリ鏡検法の診断率に影響を及ぼすのか?. 第 107 回 日本消化器病学会総会, 4 月 (東京・ハイブリット開催)

神林 祐子, 石川 剛, 田渕 祐輔, 阪口 晃一, 大内 佳美, 大辻 英吾, 高山 浩一, 田口 哲也 : VEGF 阻害剤 (bevacizumab, ramucirumab, aflibercept) による蛋白尿発症の要因解析 : 単施設後ろ向き研究. 第 14 回 日本緩和医療薬学会年会, 5 月 (WEB 開催)

神林 祐子 : がんサポーターシップケアのエビデンス —薬剤師が行う臨床薬学研究—. 医療薬学フォーラム 2021 第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 7 月 (オンデマンド+Live 配信)

Yuko Kanbayashi, Koichi Sakaguchi, Fumiya Hongo, Takeshi Ishikawa, Osamu Ukimura, Tetsuya Taguchi, Koichi Takayama : Predictors for development of denosumab-induced hypocalcaemia in cancer patients with bone metastases determined by ordered logistic regression analysis. 第 31 回 日本医療薬学会年会, 10 月 (オンデマンド+Live 配信)

衛生化学研究室

学術論文

Kinoshita R, Ishima Y, Chuang VTG, Watanabe H, Shimizu T, Ando H, Okuhira K, Otagiri M, Ishida T, Maruyama T. 2021. The Therapeutic Effect of Human Serum Albumin Dimer-Doxorubicin Complex against Human Pancreatic Tumors. *Pharmaceutics*. **13(8)**:1209

Hirakawa N, Ishima Y, Kinoshita R, Nakano R, Chuang VTG, Ando H, Shimizu T, Okuhira K, Maruyama T, Otagiri M, Ishida T. 2021. Reduction-Responsive and Multidrug Deliverable Albumin Nanoparticles: An Antitumor Drug to Abraxane against Human Pancreatic Tumor-Bearing Mice. *ACS Appl Bio Mater*. **4(5)**:4302-4309

S. Sakuma, M. Yabuuchi, A. Yoshizumi, Y. Okajima, Y. Fujimoto, K. Okuhira. 2021. Comparative effects of luteolin and quercetin on adipogenesis in 3T3-L1 cells. *J Pharm Nutr Sci*. **11**:65-72

S. Sakuma, K. Yasuda, R. Kitahara, K. Tsujimoto, K. Yamashita, N. Hoshino, Y. Fujimoto, K. Okuhira. 2022. Comparative effects of sulforaphane and allyl isothiocyanate on 3T3-L1 adipogenesis. *J Nutr Metab*. **2022**:8705163

T. Azuma, T. Hayashi. 2021. Effects of Natural Sunlight on Antimicrobial-Resistant Bacteria (AMRB) and Antimicrobial-Susceptible Bacteria (AMSB) in Wastewater and River Water. *Sci Total Environ*. **766**:142568

T. Azuma, T. Hayashi. 2021. On-site Chlorination Responsible for Effective Disinfection of Wastewater from Hospital. *Sci Total Environ*. **776**:145951

T. Azuma, T. Hayashi. 2021. Disinfection of Antibiotic-resistant Bacteria in Sewage and Hospital Effluent by Ozonation. *Ozone Sci Eng*. **43(5)**:413-426

S. Katada, A. Fukuda, C. Nakajima, Y. Suzuki, T. Azuma, A. Takei, H. Takada, E. Okamoto, T. Kato, Y. Tamura, M. Usui. 2021. Aerobic Composting and Anaerobic Digestion Decrease the Copy Numbers of Antibiotic-Resistant Genes and the Levels of Lactose-Degrading Enterobacteriaceae in Dairy Farms in Hokkaido, Japan. *Front Microbiol*. **12**:737420

T. Azuma, M. Usui, T. Hayashi. 2022. Inactivation of Antibiotic-Resistant Bacteria in Wastewater by Ozone-Based Advanced Water Treatment Processes. *Antibiotics* **11(2)**:210

東 剛志, 臼井 優, 林 哲也. 2021. 医療排水を対象にしたオゾン処理の有効性評価. *医療・環境オゾン研究* **28(3)**:91-100

著書

Ohoka N, Yokoo H, Okuhira K, Demizu Y, Naito M. 2022. Molecular Design, Synthesis, and Evaluation of SNIPER (ER) that Induces Targeted Protein Degradation of Era. *Methods in Molecular Biology book series* **2418**:pp. 363-382

学会発表等

Maki Tsujita, Juniki Yamamoto, Rinka Maehashi, Alan T Remaley, Chieko Mineo, Philip W Shaul, Shinji Yokoyama and Keiichiro Okuhira : SAA and conditional SR-BI null mice plasma.. 19th International Symposium on Atherosclerosis (ISA2021), 10 月 (京都・ハイブリット)

立花 洸季, 小川 真依, 石田 竜弘, 異島 優, 奥平 桂一郎 : 免疫抑制剤フィンゴリモドによる ABC トランスポーターの増加を介した泡沫化マクロファージへの脂質蓄積への影響. 日本薬剤学会 第 36 年会, 5 月 (オンデマンド+Live 配信)

有井 紗由季, 上田 将弘, 重永 章, 大高 章, 猪熊 翼, 山田 健一, 石田 竜弘, 奥平 桂一郎 : 新規タンパク分解誘導剤によるチミジル酸合成酵素阻害メカニズムの解明. 日本薬剤学会 第 36 年会, 5 月 (オンデマンド+Live 配信)

小川 真依, 立花 洸季, 石田 竜弘, 奥平 桂一郎 : 多発性硬化症治療薬 FTY720 による ABC トランスポーターA1 発現に対する影響とそのメカニズム. 日本薬剤学会 第 36 年会, 5 月 (オンデマンド+Live 配信)

水野 優, 鈴木 悠菜, 佐久間 寛, 奥平 桂一郎 : ヒト脳血管内皮細胞 hCMEC/D3 における密着結合関連タンパク質 Claudin-5 発現に対するメチルグリオキサールおよび L- テアニンの影響. フォーラム 2021 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月 (千葉・ハイブリット)

奥平 桂一郎 : 細胞内タンパク質の特異的分解誘導剤の創製. 関西大学・大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構 第 2 回 研究セミナー, 10 月 (オンライン)

辻田 麻紀, 高瀬 博嗣, 奥平 桂一郎, 鏑木 基成 : 磁場照射による ABCA1 トランスポータ

一機能とマウス成体脳細胞新生への影響. 第1回 トランスポーター研究会関西部会, 10月 (WEB開催)

東南 百花, 佐久間 寛, 奥平 桂一郎 : 3T3-L1細胞を用いた白色脂肪細胞のベージュ化関連遺伝子発現に対するスルフォラファンの影響. 日本薬学会 第141年会, 3月 (広島・オンライン)

佐々木 澄美, 吉田 徳幸, 奥平 桂一郎, 小比賀 聡, 井上 貴雄 : アンチセンス医薬品の細胞内取り込みに関与する分子の探索. 日本薬学会 第141年会, 3月 (広島・オンライン)

東 剛志 : 河川環境中に存在する薬剤耐性菌の実態と不活化技術の有効性評価. ミヤリサン製薬 産業動物学術 WEB セミナー ~ワンヘルス アプローチ 薬剤耐性問題を考える~, 7月 (オンライン)

内山 智晴, 福田 昭, 東 剛志, 臼井 優 : 水系環境における ESBL 産生大腸菌・カルバペネム耐性大腸菌の実態調査. 第164回 日本獣医学会学術集会, 9月 (WEB開催)

東 剛志 : 医療排水中における抗菌薬及び薬剤耐性菌の実態と不活化法の開発. 第14回 日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム"One Health"アプローチで取り組む薬剤耐性菌対策~薬剤耐性 (AMR) アクションプランの成果と次期展望~, 11月 (オンデマンド+Live 配信)

東 剛志 : 医療と環境の関わりー医療排水中における抗菌薬及び薬剤耐性菌の実態と不活化法の開発ー. 第5回 京都大学 京都生体質量分析研究会国際シンポジウム~環境汚染と感染症対策のための質量分析~, 1月 (京都大学・WEB開催)

感染制御学研究室

学術論文

Yamayoshi A, Fukumoto H, Hayashi R, Kishimoto K, Kobori A, Koyanagi Y, Komano JA, Murakami A. 2021. Development of 7SK snRNA Mimics That Inhibit HIV Transcription. *ChemMedChem*. **16(20)**:3181-3184

Kurata T, Kanbayashi D, Komano J, Motomura K. 2021. Relationship between biochemical markers and measles viral load in patients with immunologically naive cases and secondary vaccine failure: LDH is one of the potential auxiliary indicators for secondary vaccine failure. *Microbiol Immunol*. **65(7)**:265-272

Shinohara K, Furubayashi K, Kojima Y, Mori H, Komano J, Kawahata T. 2021. Clinical perspectives of *Treponema pallidum* subsp. *Endemicum* infection in adults, particularly men who have sex with men in the Kansai area, Japan: A case series. *J Infect Chemother*. **28(3)**:444-450

T. Tanabe, K. Miyamoto, K. Nagaoka, H. Tsujibo, T. Funagashi. 2021. Binding of AraC-Type activator DesR to the promoter region of *Vibrio vulnificus* ferrioxamine B receptor gene. *Biol Pharm Bull*. **44(11)**:1790-1795

総説

K. Miyamoto, H. Kawano, N. Okai, T. Hiromoto, N. Miyano, K. Tomoo, T. Tsuchiya, J. Komano, T. Tanabe, T. Funahashi, H. Tsujibo. 2021. Iron-utilization system in *Vibrio vulnificus* M2799. *Mar Drugs*. **19(12)**:710

学会発表等

K. Miyamoto, H. Kawano, N. Okai, T. Hiromoto, N. Miyano, K. Tomoo, T. Tsuchiya, J. Komano, T. Tanabe, T. Funahashi, H. Tsujibo : Ferric utilization system in *Vibrio vulnificus* M2799. World Microbe Forum, 6 月 (オンライン)

川畑 拓也, 渡邊 大, 駒野 淳, 伊禮 之直, 真栄田 哲, 崎原 永辰, 仁平 稔, 久高 潤, 仲宗根正 : 健康診断機会を利用した HIV・梅毒検査の提供 (2020 年度実績報告) . 第 35 回 日本エイズ学会学術集会・総会, 11 月 (東京・ハイブリット)

栗田 芳樹, 浜 みなみ, 八木 真裕子, Julia Junghof, Yoshinori Yoshida, Peter Gee, Akitsu Hotta, 駒野 淳 : 新規タンパク質送達法 NanoMEDIC による転写因子送達の実証. 第 44 回 日本分子生物学会年会, 12 月 (横浜・ハイブリット)

広沢 裕香, 浜 みなみ, 中村 友寿, 八木 真裕子, 武田 哲, 駒野 淳 : 成人 T 細胞白血病細胞株 ED におけるプロウイルス挿入部位の宿主とウイルス遺伝子の発現制御. 第 68 回 日本ウイルス学会学術集会, 11 月 (神戸・ハイブリット)

鷺坂 勇作, 南 健太, 鈴木 陽一, 浮村 聡, 中野 隆史, 駒野 淳 : 大阪医科薬科大学病院で分離された *C. difficile* の分子疫学的解析. 第 74 回 日本細菌学会関西支部総会, 11 月 (オンライン)

一井 沙耶佳, 藤田 薫, 浜 みなみ, 中嶋 友里江, 八木 真裕子, 駒野 淳 : 風疹ウイルス持続感染細胞におけるオートファジー制御 . 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

生体機能解析学研究室

学術論文

M. Sakaguchi, R. Nishiuchi, M. Bando, Y. Yamada, R. Kondo, M. Mitsumori, A. Shiokawa, M. Kanazawa, S. Ikeguchi, F. Kikyo, S. Tanaka. 2021. Prolyl oligopeptidase participates in the cytosine arabinoside-induced nuclear translocation of glyceraldehyde 3-phosphate dehydrogenase in a human neuroblastoma cell line. *Biochem Biophys Res Commun.* **572**:65-71

著書

坂口 実. 2022. 京都廣川書店. *FUNDAMENTAL 細胞生物学 (第2 版)*

生化学研究室

著書

福永 理己郎. 2021. 第 13 章「比較ゲノム学とゲノムの進化」の翻訳, 戸田達史 他 編集, メディカル・サイエンス・インターナショナル. ヒトの分子遺伝学 pp.473-520

学会発表等

川崎 瑤生, 西村 茅咲, 大沢 視人, 藤井 忍, 伊藤 千紘, 藤井 俊裕, 福永 理己郎 : mTORC2 構成因子の遺伝子欠損 HeLa 細胞を用いた, mTOR 経路と MAPK-Mnk 経路のクロストークの解析. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

井上 尚美, 延山 貴信, 藤井 忍, 伊藤 千紘, 藤井 俊裕, 福永 理己郎 : CRISPR/Cas9 法による MAPK 多重ノックアウト HeLa 細胞の作成と, その NHEJ 修復部位の Deep Sequencing 解析. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

伊藤 千紘, 中村 菜乃花, 横田 のぞみ, 藤井 忍, 藤井 俊裕, 福永 理己郎 : ストレス応答プロテインキナーゼ(SAPKs)遺伝子の 多重ノックアウト HeLa 細胞の作成とシグナル経路の解析. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

井上 尚美, 延山 貴信, 藤井 忍, 伊藤 千紘, 藤井 俊裕, 福永 理己郎 : CRISPR/Cas9 法による MAP キナーゼ多重ノックアウト HeLa 細胞の作成と, その NHEJ 修復部位の Deep Sequencing 解析. 第 44 回 日本分子生物学会年会, 12 月 (横浜・ハイブリット)

伊藤 千紘, 中村 菜乃花, 横田 のぞみ, 藤井 忍, 藤井 俊裕, 福永 理己郎 : ストレス応答プロテインキナーゼ (SAPKs) 遺伝子の網羅的および単独残存型多重ノックアウト HeLa 細胞を用いたシグナル経路の解析. 第 44 回 日本分子生物学会年会, 12 月 (横浜・ハイブリット)

糺 信之介, 西松 葉, 乙田 采華, 伊藤 千紘, 藤井 俊裕, 福永 理己郎, 藤井 忍 : ニワトリ卵白からのオートタキシン (リゾホスホリパーゼ D) の精製. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

薬品物理化学研究室

学術論文

Tomohiro Tsuchida, Kouki Susa, Tomohiro Kibiki, Takahiro Tsuchiya, Katsushiro Miyamoto, Yasuko In, Katsuhiko Minoura, Taizo Taniguchi, Toshimasa Ishida, Koji Tomoo. 2021. Structural study of the recognition mechanism of tau antibody Tau2r3 with the key sequence (VQIINK) in tau aggregation. *Biochem Biophys Res Commun.* **585**:36-41

学会発表等

T. Tsuchida, T. Tsuchiya, K. Miyamoto, S. Takai, T. Ueno, Y. Fujioka, Y. In, K. Minoura, T. Taniguchi, and K. Tomoo : Structural study of the inhibitory mechanism of tau recognition antibody to tau aggregation. 25th Congress and General Assembly of the International Union of Crystallography, 8 月

Md Rokon Ul Karim, Amit Raj Sharma, Agus Trianto, Mada Triandala Sibero, 赤坂 和昭, 尹 康子, 深谷 圭介, 占部 大介, 春成 円十朗, 奥 直也, 五十嵐 康弘 : 海洋細菌が生産する新規アルカノイルイミダゾール類およびキノロン類の構造. 第 36 回 天然有機化合物討論会, 9 月 (大阪・ハイブリット)

槌田 智裕, 土屋 孝弘, 宮本 勝城, 尹 康子, 箕浦 克彦, 高井真司, 上野 照生, 藤岡 良彦, 谷口 泰造, 友尾 幸司 : アルツハイマー型認知症関連蛋白質 Tau 認識抗体による Tau 重合阻害機構の解明 -Tau 抗体の VQIINK 配列特異的認識機構の解明-. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

槌田 智裕, 小橋川 栞愛, 土屋 孝弘, 宮本 勝城, 箕浦 克彦, 尹 康子, 高井 真司, 上野 照生, 藤岡 良彦, 谷口 泰造, 友尾 幸司 : アルツハイマー型認知症関連タンパク質 Tau 特異的認識抗体による、Tau 自己重合阻害機構の解明 -Tau 抗体の Tau 特異的認識機構-. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

機能分子創製化学研究室

著書

林 淳祐, 和田 俊一, 浦田 秀仁. 2021. 第3章 第3節 核酸医薬における化学修飾核酸の概要と研究開発, 情報機構. *医薬品における DDS 技術開発と製剤への応用* pp. 233-247

学会発表等

和田 俊一, 楠山 信, 林 淳祐, 浦田 秀仁 : CONJUGATES OF MAP(Aib) AND cRGD THROUGH DISULFIDE LINKAGES AS siRNA CARRIERS. 第 58 回 ペプチド討論会, 10 月 (オンライン)

杉本 紀人, 林 淳祐, 船木 涼平, 保積 恵美, 和田 郁人, 斯波 真理子, 和田 俊一, 浦田 秀仁 : プロドラッグ型ホスホトリエステル修飾を導入した Gapmer 核酸の合成とその評価. 日本核酸医薬学会 第 6 回年会, 6 月 (オンライン)

和田 俊一, 芝池 央, 林 淳祐, 浦田 秀仁 : ペプチド性 siRNA キャリア MAP(Aib)-cRGD の構造活性相関研究: ヘリックスペプチドにおける C-末端残基及びヘリックス鎖の長さの影響. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

杉本 紀人, 林 淳祐, 船木 涼平, 保積 慧美, 和田 郁人, 斯波 真理子, 和田 俊一, 浦田 秀仁 : プロドラッグ型ホスホトリエステル修飾ギャップマー型核酸の合成とその遺伝子発現抑制効果の評価. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

医薬分子化学研究室

学術論文

Saki Takayanagi, Kengo Watanabe, Takeshi Maruyama, Motoyuki Ogawa, Kazuhiro Morishita, Mayumi Soga, Tomohisa Hatta, Tohru Natsume, Tomoya Hirano, Hiroyuki Kagechika, Kazuki Hattori, Isao Naguro, Hidenori Ichijo. 2021. ASKA technology-based pull-down method reveals a suppressive effect of ASK1 on the inflammatory NOD-RIPK2 pathway in brown adipocytes. *Sci Rep.* **11**(1):22009

T. Yamada, K. Yoshida, T. Kikuchi, T. Hitano. 2022. Isolation and structure elucidation of new cytotoxic macrolides halosmysins B and C from the fungus *Halosphaeriaceae* sp. associated with a marine alga. *Mar Drugs.* **20**(4):226

解説・プロシーディング・紀要・その他

山田 剛司, 吉田 佳乃子, 平野 智也, 菊地 崇. 2021. 海藻由来真菌の産生する新規マクロライドの化学構造に関する研究. 第63回 天然有機化合物討論会 講演要旨集 pp.427-432

学会発表等

笹井 美花, 中嶋 祐介, 安田 大輔, 加藤 大輝, 影近 弘之, 平野 智也 : OFF-ON-OFF 変化型 pH 応答性光分解性保護基の開発. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

園畑 みずき, 神長 楓, 岸 玲奈, 安原 徳子, 柴崎 典子, 平野 智也, 影近 弘之, 大崎 愛弓 : 柑橘類“不知火”果皮に含まれる蛍光成分と蛍光特性について. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

平野 智也, 磯野 真理子, 佐々木 真衣, 加藤 大輝, 影近 弘之 : 活性酸素存在下で機能する Caged 化合物の開発. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

平野 智也, 加藤 大輝, 影近 弘之 : 活性酸素種によって機能する光分解性保護基の開発. 第 47 回 反応と合成の進歩シンポジウム, 10 月 (オンライン)

山田 剛司, 吉田 佳乃子, 平野 智也, 菊地 崇 : 海藻由来真菌の産生する新規マクロライドの化学構造に関する研究. 第 63 回 天然有機化合物討論会, 9 月 (大阪・ハイブリット)

有機薬化学研究室

学術論文

Usami, Y., Tatsui, Y., Sumimoto, K., Ayami, M., Nanase, K., Yoneyama, H., Harusawa, S.. 2021. 3-trifluoromethanesulfonyloxy-4,7-dihydropyrazolo [1,5-a]pyridine via ring-closing metathesis: Synthesis and transformation to withasomnine homologs. *Heterocycles*. **103(1)**:284-299

Yoshihide Usami, Yumika Kubo, Toshiki Takagaki, Nao Kuroiwa, Jun Ono, Kohei Nishikawa, Ayaka Nakamizu, Yuya Tatsui, Shinya Harusawa, Noboru Hayama, Hiroki Yoneyama. 2021. CuI-catalyzed coupling reactions of 4-iodopyrazoles and alcohols: Application toward withasomnine and Homologs. *Molecules*. **26(11)**:3370

Komeda, S., Yoneyama, H., Uemura, M., Tsuchiya, T., Hoshiyama, M., Sakazaki, T., .Hiramoto, K., Harusawa, S.. 2021. Data on synthesis and structure–activity relationships of tetrazolato-bridged dinuclear platinum(II) complexes. *Data Brief*. **40**:107697

Hayama, N., Kobayashi, Y., Takemoto, Y.. 2021. Asymmetric hetero-Michael addition to α,β -unsaturated carboxylic acids using thiourea–boronic acid hybrid catalysts. *Tetrahedron*. **89(4)**:132089

特許

細畑 圭子, 高井 真司, 米山 弘樹, 金 徳男, 宇佐美 吉英. Vanin-1 阻害剤, 特願 2021-204876, 大阪医科薬科大学

学会発表等

Masako UEMURA, Keiichi HIRAMOTO, Hiroki YONEYAMA, Yoshihide USAMI, Shinya HARUSAWA, and Seiji KOMEDA : Introduction of fluorine into antitumor-active dinuclear platinum(II) complex changes in vitro/in vivo activity. 第 30 回 金属の関与する生体関連反応シンポジウム, 6 月 (オンライン)

米山 弘樹, 森田 蒼, 足立 茉望, 山脇 加名子, 馬場 美帆, 中川 真稀, 葉山 登, 春沢 信哉, 宇佐美 吉英 : マイクロウェーブを用いた 2,5-二置換テトラゾールからニトリルイミンを経由するピラゾール合成法の開発. 第 47 回 反応と合成の進歩シンポジウム, 10 月 (オンライン)

葉山 登, 神路 浩美, 矢田 麻奈衣, 米山 弘樹, 本田 千恵, 萩中 淳, 宇佐美 吉英 : カルバマゼピン誘導体の合成研究と分子インプリントポリマーの調製への応用. 第 50 回 複素環化学討論会, 10 月 (オンライン)

黒岩 央, 高垣 俊貴, 久保 夢実夏, 辰井 優弥, 葉山 登, 春沢 信哉, 米山 弘樹, 宇佐美 吉英 : CuI を触媒とする 4-iodo-1H-pyrazole 類とアルコールとのカップリング反応—withasomnine および類縁体の合成への応用—. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

岡田 彩海, 米山 弘樹, 葉山 登, 宇佐美 吉英, 春沢 信哉 : テトラブチルアンモニウムアジドを用いたシアノホスフェートからニトリルへの変換反応. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

足立 茉望, 森田 蒼, 山脇 加名子, 馬場 美帆, 中川 真稀, 米山 弘樹, 葉山 登, 春沢 信哉, 宇佐美 吉英 : マイクロウェーブを用いた 2,5 二置換テトラゾールからニトリルイミンを経由するピラゾール融合複素環への変換反応の開発. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

伊藤 愛子, 高辻 来美, 米山 弘樹, 葉山 登, 春沢 信哉, 宇佐美 吉英 : シアノホスフェートを用いるシクロペンテノン合成法の開発と天然物(-)-トリコデノン C 合成への応用. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

神路 浩美, 葉山 登, 本田 千恵, 米山 弘樹, 宇佐美 吉英, 萩中 淳 : カルバマゼピンおよびその置換体に対する分子インプリントポリマーの調製と応用. 第 33 回 バイオメディカル分析科学シンポジウム, 9 月 (京都・ハイブリット)

葉山 登, 新郷 涼太, 田中 彩夏, 三浦 夏帆, 米山 弘樹, 小林 祐輔, 竹本 佳司, 宇佐美 吉英 : α,β -不飽和カルボン酸への不斉アザマイケル反応における新展開. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

米山 弘樹, 岡田 彩海, 飯田 峻平, 葉山 登, 春沢 信哉, 宇佐美 吉英 : シアノホスフェートを経由しても増炭しない芳香族アルデヒドからニトリルへの変換反応. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

生薬科学研究室

学術論文

Yoshiyuki Kimura, Masahiko Taniguchi. 2021. Effects of *Perilla frutescens* var. *crispa* herb extract, the essential oil perillaldehyde, and the caffeetannin rosmarinic acid on gastric emptying and gastrointestinal motility in mice. *Traditional & Kampo Medicine* **8(3)**:194-203

Seisho Azuma, Yoshinobu Murakami, Masahiko Taniguchi, Kimiye Baba, Toru Mima, Kiyoshi Nakamura. 2021. Daily intake of Citrus jabara fruit peel powder (Japanese Patent No. 5,323,127) improves allergy-like symptoms: A randomized double-blind parallel-group comparative study. *Trends in Immunotherapy* **5(2)**:21-31

D. Matsui, Y. Hirata, A. Iwakawa, Y. Toyotake, M. Wakayama, Y. Asano. 2021. Combination of Enzymatic Oxidation of Amino Acid and Native Chemical Ligation with Hydroxylamine for Amide Formation toward a One-pot Process. *Chem Lett.* **50(9)**:1632-1634

西野 陽向, 平田 佳之, 長岡 康夫, 上里 新一. 2022. HDAC 阻害剤のアイソフォーム選択性が, トリプルネガティブがん細胞株 MDA-MB-231 における PD-L1 発現に重要な影響を与える. *YAKUGAKU ZASSHI* **142(4)**:431-437

著書

谷口 雅彦. 2021. 第3章 生薬の基原と用途 生薬各論③⑤～④①, 日本薬学会編, 東京化学同人(東京). *薬物化学系薬学Ⅲ (スタンダード薬学シリーズⅡ-3) 自然が生み出す薬物* pp.57-61

学会発表等

村上 能庸, 吾妻 正章, 吾妻 英子, 馬場 きみ江, 谷口 雅彦 : 柑橘ジャバラ果皮成分による上皮細胞での真菌誘発性炎症反応の抑制. 日本生薬学会 第67回年会, 9月 (東京)

大藏 直樹, 吾妻 正章, 村上 能庸, 谷口 雅彦 : ジャバラ抽出物の血液凝固と線溶におよぼす影響. 日本生薬学会 第67回年会, 9月 (東京)

西野 陽向, 平田 佳之, 谷口 雅彦, 長岡 康夫, 上里 新一 : 特性の異なる HDAC 阻害剤がトリプルネガティブ乳がん細胞株 MDA-MB-231 の免疫チェックポイントタンパク質 PD-L1 発現に及ぼす影響について. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

村上 能庸, 吾妻 正章, 馬場 きみ江, 谷口 雅彦, 古川 福実 : 柑橘ジャバラ果皮成分によるサイトカイン刺激皮膚角化細胞の炎症反応の抑制. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

平田 佳之, 浅田 耀平, 西野 陽向, 木村 耕介, 佐々木 勉, 長岡 康夫, 上里 新一, 谷口 雅彦 : ニガキ由来アルカロイドのオートファジー誘導効果とその作用メカニズムの検討. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

大藏 直樹, 鎌田 理代, 飯島 亮介, 藤井 暁, 長野 正信, 恵谷 晋, 梅井 瑞希, 谷口 雅彦 : 黒酢もろみ末抽出物に含まれる機能性物質の探索. 日本薬学会 第 142 回年会, 3 月 (名古屋・オンライン)

平田 佳之, 上里 新一, 松井 大亮 : One-pot chemoenzymatic 合成法で構築したアミド化合物ライブラリーを用いた簡便ヒストン脱アセチル化酵素 1 阻害剤スクリーニング法の開発. 第 73 回 日本生物工学会, 10 月 (オンライン)

分子構造化学研究室

学術論文

Asano, A., Minami, C., Matsuoka, S., Kato, T., Doi, M.. 2021. An Ornithine-Free Gramicidin S Analogue Using Norleucine, Cyclo(Val–Nle–Leu–D-Phe–Pro)₂, Forms Helically Aligned β -Sheets. *Chem Pharm Bull.* **69(11)**:1097-1103

Makura, Y., Ueda, A., Kato, T., Iyoshi, A., Higuchi, M., Doi, M., Tanaka, M.. 2021. X-ray crystallographic structure of α -helical peptide stabilized by hydrocarbon stapling at i,i + 1 positions. *Int J Mol Sci.* **22(10)**:5364

Sato, K., Umeno, T., Ueda, A., Kato, T., Doi, M., Tanaka, M.. 2021. Asymmetric 1,4-Addition Reactions Catalyzed by N-Terminal Thiourea-Modified Helical l-Leu Peptide with Cyclic Amino Acids. *Chemistry.* **27(43)**:11216–11220

Yamaberi, Y., Eto, R., Umeno, T., Kato, T., Doi, M., Yokoo, H., Oba, M., Tanaka, M.. 2021. Synthesis of (S)-(-)-Cucurbitine and Conformation of Its Homopeptides. *Org Lett.* **23(11)**:4358–4362

Asano, A., Nakagawa, M., Miyajima, C., Yasui, M., Minoura, K., Yamada, T., Doi, M.. 2021. Effect of the powerful plasticity of the tert-butyl side chain on the conformational equilibrium of ascidiacyclamides. *J Pept Sci.* **27(12)**:e3363

Kato, T., Kita, Y., Iwanari, K., Asano, A., Oba, M., Tanaka, M., Doi, M.. 2021. Synthesis of six-membered carbocyclic ring α,α -disubstituted amino acids and arginine-rich peptides to investigate the effect of ring size on the properties of the peptide. *Bioorg Med Chem.* **38**:116111

Ueda, A., Makura, Y., Kakazu, S., Kato, T., Umeno, T., Hirayama, K., Doi, M., Oba, M., Tanaka, M.. 2022. E-Selective Ring-Closing Metathesis in α -Helical Stapled Peptides Using Carbocyclic α,α -Disubstituted α -Amino Acids. *Org Lett.* **24(4)**:1049–1054

解説・プロシーディング・紀要・その他

加藤 巧馬. 2021. 非タンパク質構成アミノ酸の α,α -ジ置換アミノ酸を利用した細胞膜透過性ペプチドの開発. *Peptide Newsletter Japan* **120**:11-13

学会発表等

Y. Makura, A. Ueda, T. Umeno, T. Kato, S. Kakazu, K. Hirayama, M. Doi, M. Oba, M. Tanaka : E-selective ring-closing metathesis for i, i+4 stapled peptides using five-membered carbocyclic α,α -disubstituted α -amino acids. ACS Spring Meeting 2021, 4 月 (オンライン)

K. Sato, T. Umeno, A. Ueda, M. Doi, T. Kato, M. Tanaka : Asymmetric 1,4-addition reactions catalyzed by N-terminal thiourea-modified helical peptide having cyclic amino acid. ACS Spring Meeting 2021, 4 月 (オンライン)

西岡 良真, 梅野 智大, 土井 光暢, 加藤 巧馬, 上田 篤志, 大庭 誠, 田中 正一 : ヘリカルペプチド型ホスフィン配位子を用いた不斉触媒反応の開発. 第 58 回 化学関連支部合同九州大会, 7 月 (福岡・オンライン)

T. Kato, H. Numa, M. Nakamachi, A. Asano, M. Doi : Effects of replacing the Glu residues of Pep-1 peptide with hydrophobic amino acids. 第 58 回 ペプチド討論会, 10 月 (オンライン)

R. Nishioka, T. Umeno, M. Doi, T. Kato, A. Ueda, M. Oba, M. Tanaka : Development of phosphine ligands with helical peptide for enantioselective [3+2]cycloaddition reactions. 第 58 回 ペプチド討論会, 10 月 (オンライン)

山田 龍聖, 松岡 明希, 加藤 巧馬, 浅野 晶子, 土井 光暢 : 両親媒性ヘリックスペプチドの疎水性面の角度からみた脂質二重膜への影響の評価. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

松岡 明希, 山田 龍聖, 加藤 巧馬, 浅野 晶子, 土井 光暢 : ジ置換アミノ酸を含有する両親媒性ヘリックスペプチドの脂質二重膜への影響の評価. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

加藤 巧馬, 奥菌 樹, 三福 徹, 浅野 晶子, 土井 光暢 : ナフチルアラニンを含むヘリカルペプチドの CD スペクトル評価. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

田中 正一, 本多 湧大, 伊藤 貴仁, 加藤 巧馬, 土井 光暢, 大庭 誠, 上田 篤志 : β 位にメチル基を持つ光学活性 3 員環アミノ酸の合成とそのペプチドの二次構造解析. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

井吉 彬太, 上田 篤志, 真倉 唯, 樋口 明, 加藤 巧馬, 佐藤 和樹, 梅野 智大, 土井 光暢,
田中 正一 : N 末で $i, i+1$ 位架橋した α -ヘリカルペプチドの構造解析と有機触媒への利用.
日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

薬学教育研究センター

学術論文

M. Harada, J. Nagai, R. Kurata, X. Cui, T. Isagawa, H. Semba, Y. Yoshida, N. Takeda, K. Maemura, T. Yonezawa. 2021. Establishment of Novel Protein Interaction Assays between Sin3 and REST Using Surface Plasmon Resonance and Time-Resolved Fluorescence Energy Transfer. *Int J Mol Sci.* **22(5)**:2323

Jun Muto, Yumi Yasuoka, Nao Miura, Daichi Iwata, Hiroyuki Nagahama, Mitsuhiro Hirano, Yoshiro Ohmomo, Takahiro Mukai. 2021. Preseismic atmospheric radon anomaly associated with 2018 Northern Osaka earthquake. *Sci Rep.* **11(1)**:7451

倉田 里穂, 原田 将光, 砂河 孝行, 仙波 宏章, 武田 憲彦, 前村 浩二, 米澤 朋. 2021. 原虫 NTPase 活性の高感度測定系の樹立および原虫感染症に対する創薬研究. *Precision Medicine* **4(8)**:801-808

著書

大桃 善朗, 佐治 英郎, 間賀田 泰寛, 小川 数馬. 2021. 第 8 章 放射性医薬品, 佐治英郎 他編, 南江堂 (東京). *新 放射化学・放射性医薬品学 (改訂第 5 版)* pp.181-243

学会発表等

宮崎 誠, 藤澤 有衣 : 薬物動態パラメータの生体リズムは血中薬物濃度推移にどのような影響を与えるか. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

M. Harada, R. Kurata, Y. Yoshida, T. Yonezawa : Establishment of novel protein interaction assays between Sin3b and REST Using surface plasmon resonance and time-resolved 4 fluorescence energy transfer. 第 44 回 日本分子生物学会年会, 12 月 (横浜・ハイブリット)

久保 愛奈, 倉田 里穂, 福永 理己郎, 尾崎 恵一 : BRAF-V600E 変異大腸がん細胞株に対する MNK 阻害剤と HDAC 阻害剤との併用効果. 第 71 回 日本薬学会関西支部総会・大会, 10 月 (大阪・オンライン)

中央機器研究施設

学術論文

S. Nogami, K. Minoura, N. Kiminami, Y. Kitaura, H. Uchiyama, K. Kadota, Y. Tozuka. 2021. Stabilizing effect of the cyclodextrins additive to spray-dried particles of curcumin/polyvinylpyrrolidone on the supersaturated state of curcumin. *Adv Powder Technol.* **32(5)**:1750-1756

Tomohiro Tsuchida, Kouki Susa, Tomohiro Kibiki, Takahiro Tsuchiya, Katsushiro Miyamoto, Yasuko In, Katsuhiko Minoura, Taizo Taniguchi, Toshimasa Ishida, Koji Tomoo. 2021. Structural study of the recognition mechanism of tau antibody Tau2r3 with the key sequence (VQIINK) in tau aggregation. *Biochem Biophys Res Commun.* **585**:36-41

A. Asano, M. Nakagawa, C. Miyajima, M. Yasui, K. Minoura, T. Yamada, M. Doi. 2021. Effect of the powerful plasticity of the tert-butyl side chain on the conformational equilibrium of ascidiacyclamide. *J Pept Sci.* **27(12)**:e3363

R. Yamaoki, S. Uno and S. Kimura. 2022. Microbial Control in the Primary Packaging of Pills Using Ionizing Radiation and Its Effect on Characteristic Constituents for Quality Control in Irradiated Pills. *Processes.* **10(2)**:300

総説

山沖 留美. 2021. 放射線利用の認知－医療分野から. *JAPI Newsletter* **24(3)**:1-2

著書

山沖 留美. 2021. 5 放射線の性質よ測定, 物理放射学実習 2021. 大阪医科薬科大学薬学部 (大阪) pp.19-26

山沖 留美, 平田 雅彦. 2021. 6 放射性医薬品の定量および確認試験, 物理放射学実習 2021. 大阪医科薬科大学薬学部 (大阪) pp.27-40

山沖 留美, 左溝 由佳, 清水 百恵, 近藤 直哉, 天満 敬. 2022. 自家製造した丸剤の微生物学的品質 及び 生薬の指標成分への電子線照射効果. *日本薬学会 141 年会要旨集 (名古屋)* pp.1

解説・プロシーディング・紀要・その他

山沖 留美. 2021. 医療で活用される放射線. *Mail-Booklet 健康マスター関西会* 9:3-7

学会発表等

T. Tsuchida, T. Tsuchiya, K. Miyamoto, S. Takai, T. Ueno¹, Y. Fujioka, Y. In, K. Minoura, T. Taniguchi, and K. Tomoo : S+RC structural study of the inhibitory mechanism of tau recognition antibody to tau aggregation. 25th Congress and General Assembly of the International Union of Crystallography, 8 月

槌田 智裕, 土屋 孝弘, 宮本 勝城, 尹 康子, 箕浦 克彦, 高井真司, 上野 照生, 藤岡 良彦, 谷口 泰造, 友尾 幸司 : アルツハイマー型認知症関連蛋白質 Tau 認識抗体による Tau 重合阻害機構の解明 -Tau 抗体の VQIINK 配列特異的認識機構の解明-, 10 月 (大阪・オンライン)

槌田 智裕, 小橋川 栞愛, 土屋 孝弘, 宮本 勝城, 箕浦 克彦, 尹 康子, 高井 真司, 上野 照生, 藤岡 良彦, 谷口 泰造, 友尾 幸司 : アルツハイマー型認知症関連タンパク質 Tau 特異的認識抗体による、Tau 自己重合阻害機構の解明 -Tau 抗体の Tau 特異的認識機構-. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

藤嶽 美穂代, 春沢 信哉 : FABMS によるシスチン及びその関連化合物の精密質量測定. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

山沖 留美 : 医療で活用される放射線. 健康マスター関西会 9 月定例会, 9 月 (大阪)

山沖 留美, 左溝 由佳, 清水 百恵, 近藤 直哉, 天満 敬 : 自家製造した丸剤の微生物学的品質及び生薬の指標成分への電子線照射効果. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

自然科学グループ

学術論文

Qing Zhao, Masahiro Isaka, Takayuki Myo, Mengjiao Lyu, Hiroshi Toki, Hisashi Horiuchi, Hiroki Takemoto, and Niu Wan. 2021. Role of the unitary correlation operator on high-momentum antisymmetrized molecular dynamics using the bare NN interaction for 3H and 4He. *Prog Theor Exp Phys.* **2021(6)**:063D02

Takayuki Myo, Mengjiao Lyu, Hiroshi Toki, Hisashi Horiuchi, Qing Zhao, Masahiro Isaka, Hiroki Takemoto, and Niu Wan. 2022. New many-body method using cluster expansion diagrams with tensor-optimized antisymmetrized molecular dynamics. *Phys Rev C* **105**:14317

解説・プロシーディング・紀要・その他

永田 誠, 武井 由智. 2021. ある型の置換の個数について II. *大阪医科薬科大学薬学部雑誌* **1**:19-45

言語文化学グループ

解説・プロシーディング・紀要・その他

田邊 久美子. バタフィールドとモリス周辺における barbarism と simplicity の嗜好. 論集
68(1):91-102

田邊 久美子. 薬学部における TOEIC の取り組み (2017 - 2021 年度). 人文研究 53:56-85

学会発表等

スミス山下朋子, 天ヶ瀬 葉子, 野口ジュディー : 2020 年度薬学系大学生のための専門語彙
学習アプリの導入と評価. 第 6 回 日本薬学教育学会大会, 8 月 (Web 開催)

スミス山下朋子, 天ヶ瀬 葉子, 野口ジュディー : 多義語である英語医療用語の習得に関する
予備的研究. 日本薬学会 第 142 年会, 3 月 (愛知・オンライン)

山田 真衣, 岡田 温奈, 瀬戸 千尋, 水川 裕美子, 天ヶ瀬 葉子, 漆谷 徹郎 : ラット肝化学
発がんにおけるアポトーシス促進タンパク質 NADE の発現. 第 95 回 日本薬理学会年会, 3
月 (福岡)

星山 茉莉, 長谷川 史歩, 水川 裕美子, 天ヶ瀬 葉子, 漆谷 徹郎 : フロプロピオンの鎮痙
作用にカテコール-O-メチルトランスフェラーゼ抑制は関与していない. 第 95 回 日本薬理
学会年会, 3 月 (福岡)

その他特筆すべきもの

スミス山下朋子, 野口ジュディー, 天ヶ瀬 葉子. Medical Terminology: Sub-technical Terms,
2021, 丸善雄松堂・デンシヨク

人間文化学グループ

解説・プロシーディング・紀要・その他

城下 賢一. 消去. 2020 年の歴史学会 回顧と展望 日本（近現代）政治 4. 史学雑誌
130(5):158-160

城下 賢一. 2022. 日本薬剤師協会による薬業経済安定のころみ 1958-1963. 大阪医科薬科
大学薬学部雑誌 **1:5-18**

環境医療学グループ

解説・プロシーディング・紀要・その他

齋藤 好史, 正美 こずえ, 当麻 成人. 2021. 体育専攻学生のための溺水予防と水泳基礎技能. 大阪産業大学人間環境論集

学会発表等

阪本 恭子 : ドイツにおけるベビークラッペの歩み. 比較家族史学会, 10 月 (オンライン)

阪本 恭子, トビアス・バウアー : ドイツと日本の「Spenderkinder (精子提供で生まれた子ども)」の現在—両国の遺伝上の親を知る権利 (出自を知る権利) に関する議論と当事者団体の活動. 日本医学哲学・倫理学会, 11 月 (オンライン)